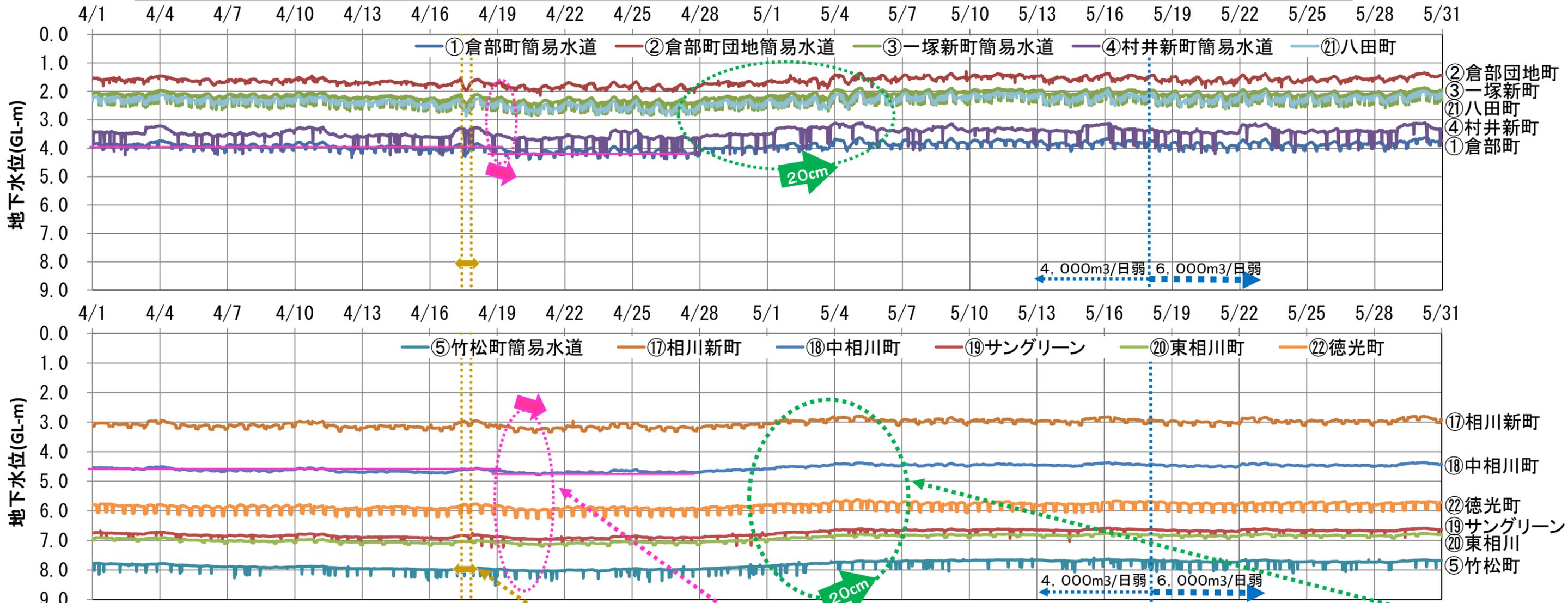


# 松任工業用水道 H28年度地下水位事前影響調査結果全22箇所の地下水位経時変化図（4月～5月） 1/2



**4月 説明**

**H28.4.1地下水位状況**  
特に目立った水位の変動はなく水位は安定している。3月の月間降水量は57mmと3月の降水量としては1946年の統計開始以来過去最少となっている。

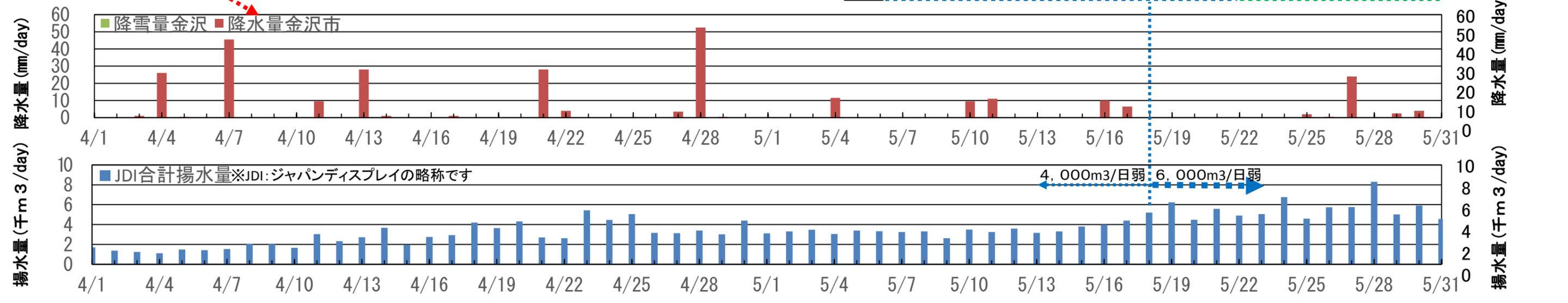
**農業用井戸**  
4月17日9:00-16:00にかけて、水位変動が認められた。浜八田の灌漑用井戸が特に長時間稼働しており、周辺の農業用井戸が稼働した影響と予想される。

**H28.4月概要**  
3月末から4月末にかけて、全体的に30cm程度低下しており、3月の月間降水量の影響と思われる。

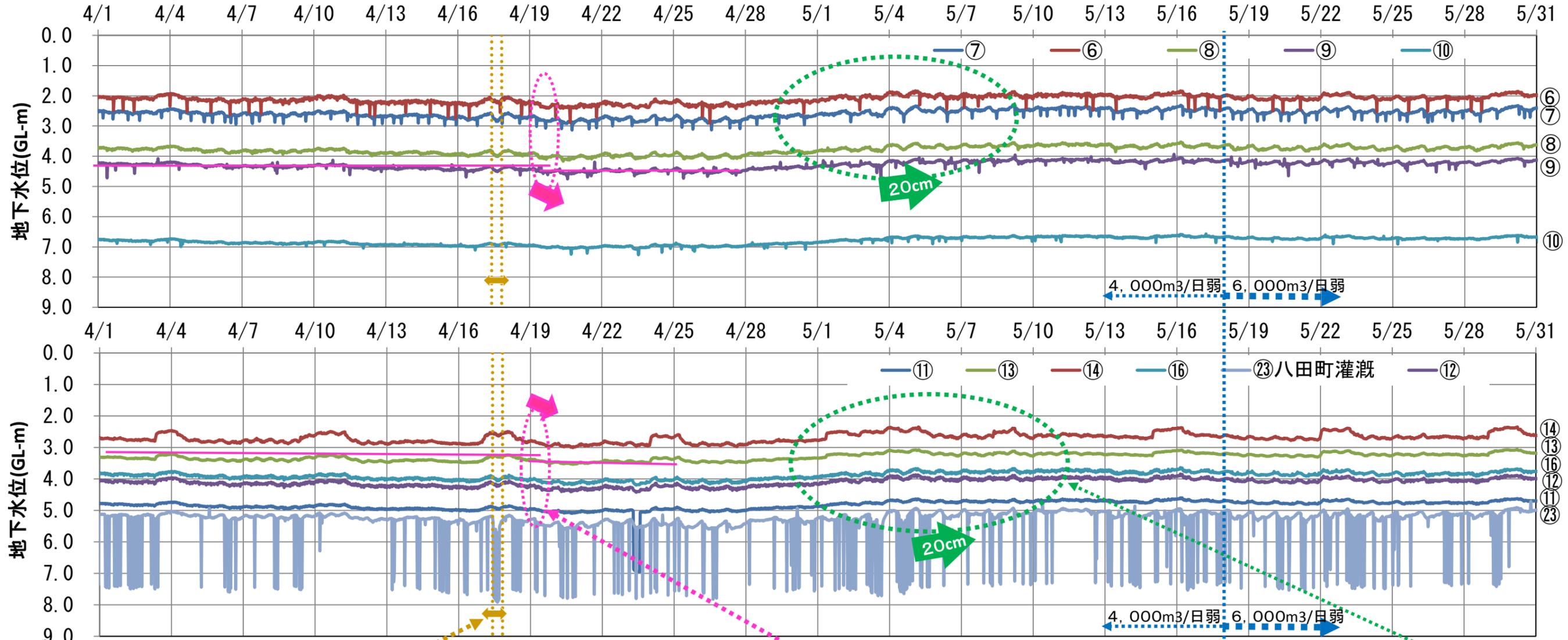
**5月 説明**

**JDI揚水**  
JDI内部では5月18日までは4,000m<sup>3</sup>/日弱、以降は6,000m<sup>3</sup>/日弱の揚水を継続しているが、特に影響は認められない。

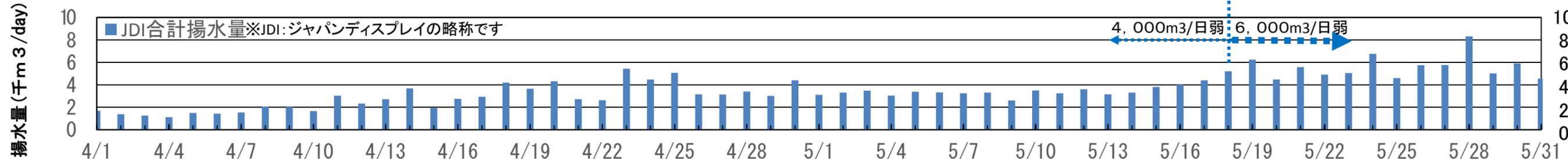
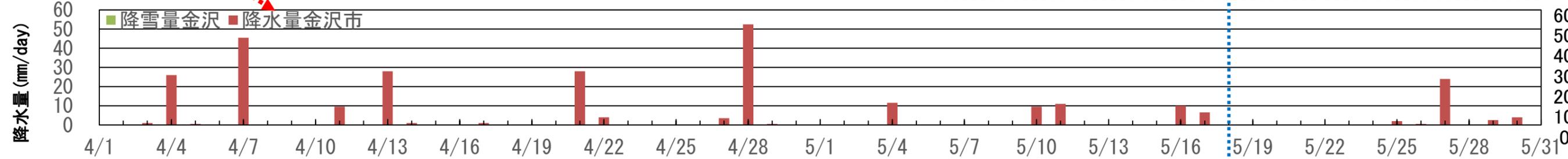
**H28.5月概要**  
ゴールデンウィーク期間中に20cm程度全体的に水位が上昇し、以降は概ね安定している。



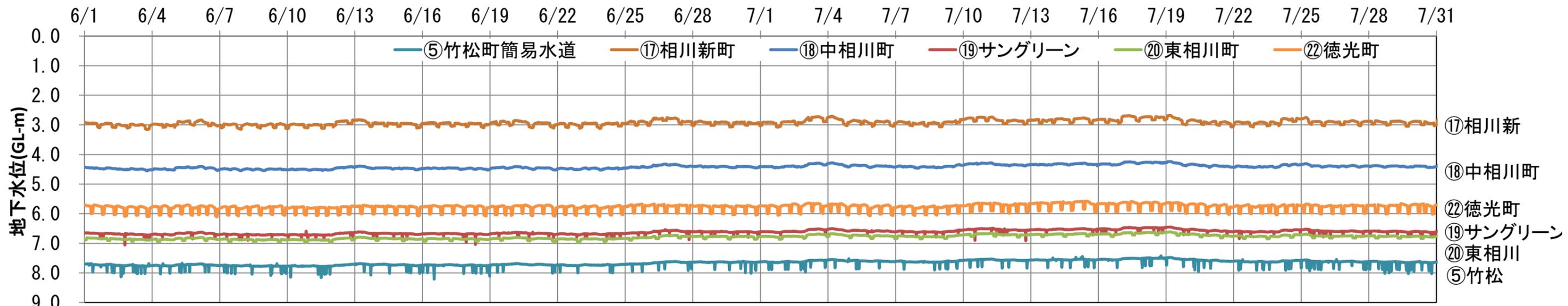
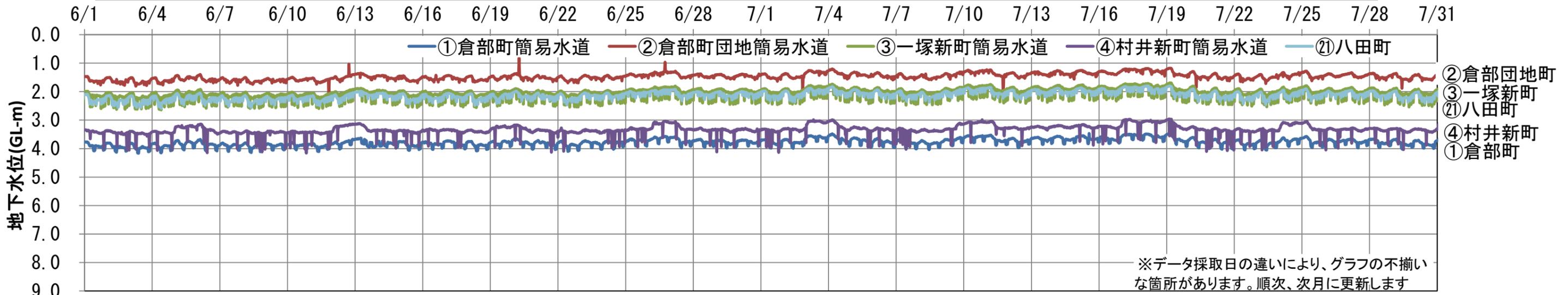
# 松任工業用水道 H28年度地下水位事前影響調査結果全22箇所の地下水位経時変化図（4月～5月） 2/2



4月 説明	<b>H28.4.1地下水位状況</b> 特に目立った水位の変動はなく水位は安定している。3月の月間降水量は57mmと3月の降水量としては1946年の統計開始以来過去最少となっている。	<b>農業用井戸</b> 4月17日9:00-16:00にかけて、水位変動が認められた。浜八田の灌漑用井戸が特に長時間稼働しており、周辺の農業用井戸が稼働した影響と予想される。	<b>H28.4月概要</b> 3月末から4月末にかけて、全体的に30cm程度低下しており、3月の月間降水量の影響と思われる。	5月 説明	<b>JDI揚水</b> JDI内部では5月18日までは4,000m3/日弱、以降は6,000m3/日弱の揚水を継続しているが、特に影響は認められない。	<b>H28.5月概要</b> ゴールデンウィーク期間中に20cm程度全体的に水位が上昇し、以降は概ね安定している。

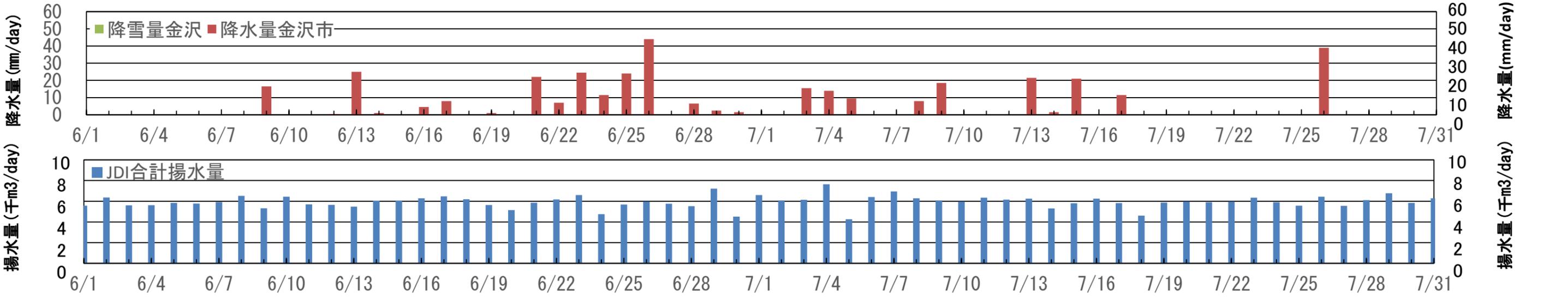


# 松任工業用水道 H28年度地下水位事前影響調査結果全23箇所の地下水位経時変化図（6月～7月）（1/2）

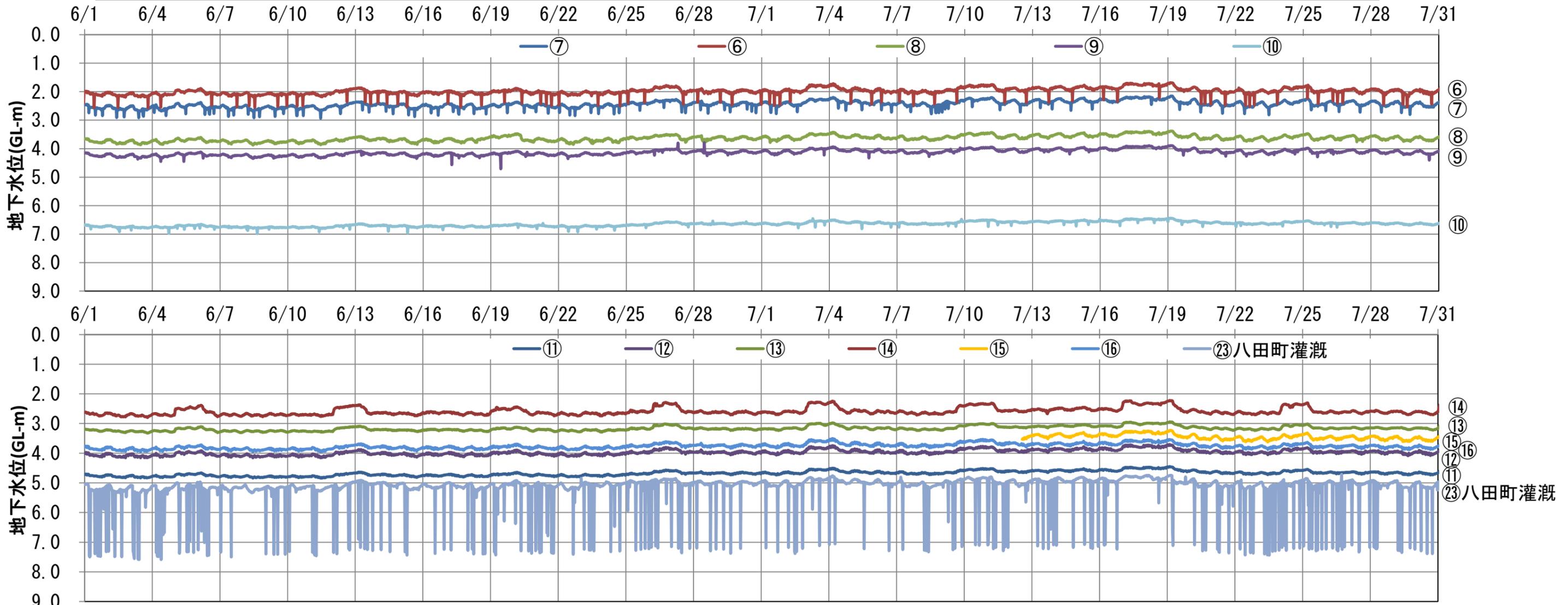


**6月 H28.6.30 地下水位状況**  
 地下水位は、6月の間は大きな変化はなく、概ね一定で推移している。また、6月の降水量は200mm/月であり、平年並みである。  
 JDI内部では平均6,000m<sup>3</sup>/日前後の揚水を継続しているが、特に影響は認められない。  
 ※JDI: ジャパンディスプレイの略称です

**H28.7.28 地下水位状況**  
 地下水位は、7月の間は大きな変化は無く、概ね一定で推移している。また、7月の降水量は160mmであり、平年の70%程度であるが、今のところ影響は認められない。  
 7月12日より、⑮の水位測定を開始している。観測水位は⑯と同等であり、グラフがほぼ重なっているため、⑮の測定水位を0.3m高く表示する。  
 JDI内部では平均6,000m<sup>3</sup>/日前後の揚水を継続しているが、特に影響は認められない。

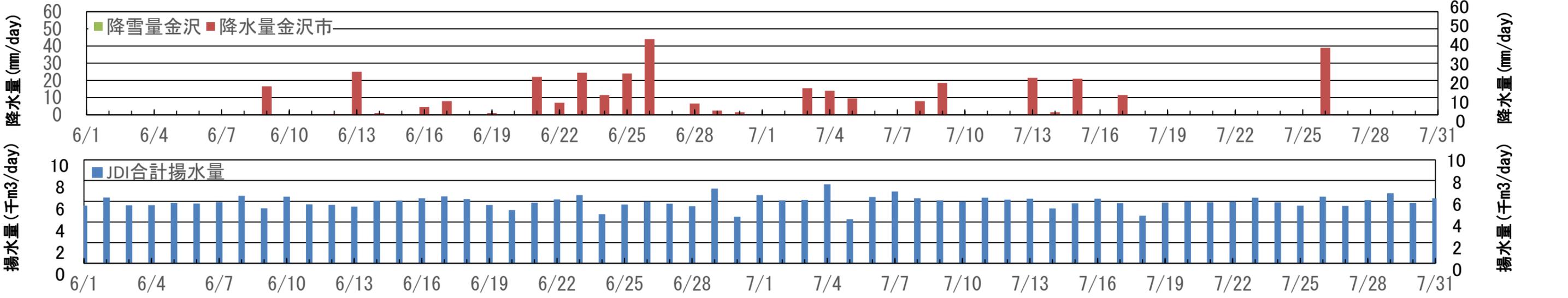


# 松任工業用水道 H28年度地下水位事前影響調査結果全23箇所の地下水位経時変化図（6月～7月）（2/2）

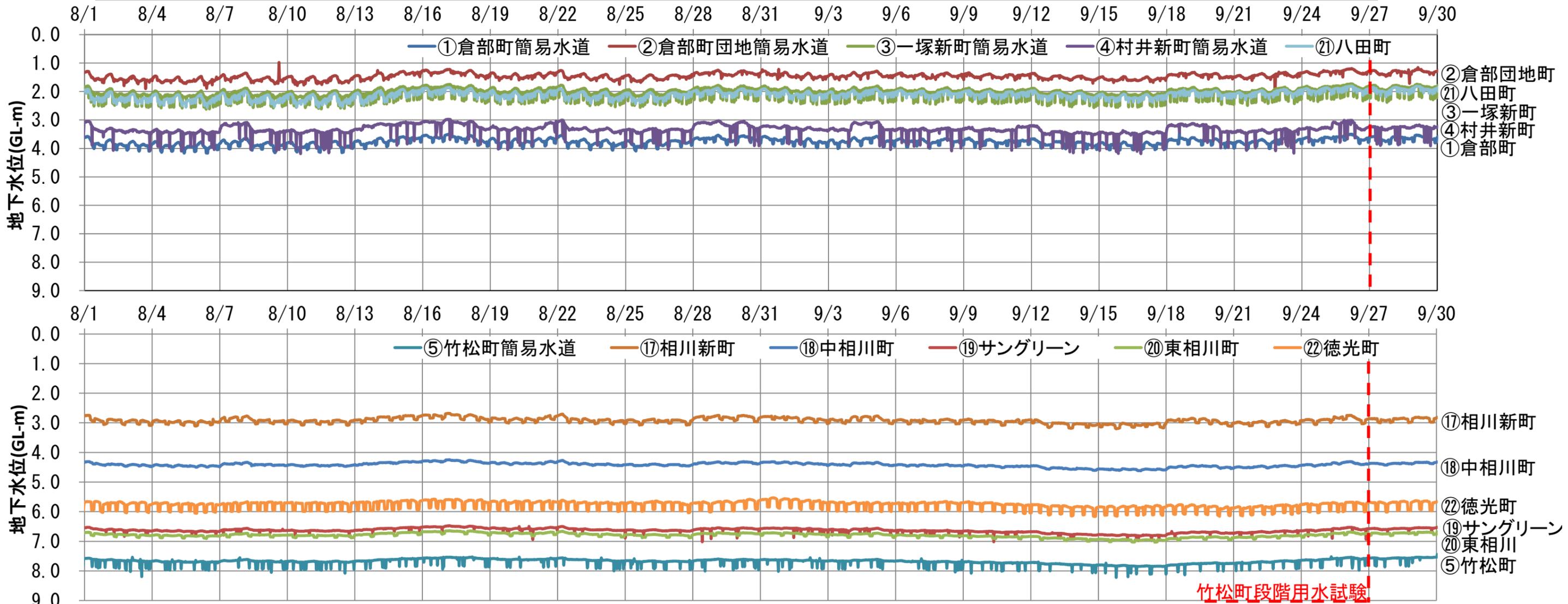


**6月 H28.6.30 地下水位状況**  
 地下水位は、6月の間は大きな変化はなく、概ね一定で推移している。また、6月の降水量は200mm/月であり、平年並みである。  
 JDI内部では平均6,000m<sup>3</sup>/日前後の揚水を継続しているが、特に影響は認められない。

**H28.7.28 地下水位状況**  
 地下水位は、7月の間は大きな変化は無く、概ね一定で推移している。また、7月の降水量は160mmであり、平年の70%程度であるが、今のところ影響は認められない。  
 7月12日より、⑮の水位測定を開始している。観測水位は⑯と同等であり、グラフがほぼ重なっているため、⑮の測定水位を0.3m高く表示する。  
 JDI内部では平均6,000m<sup>3</sup>/日前後の揚水を継続しているが、特に影響は認められない。

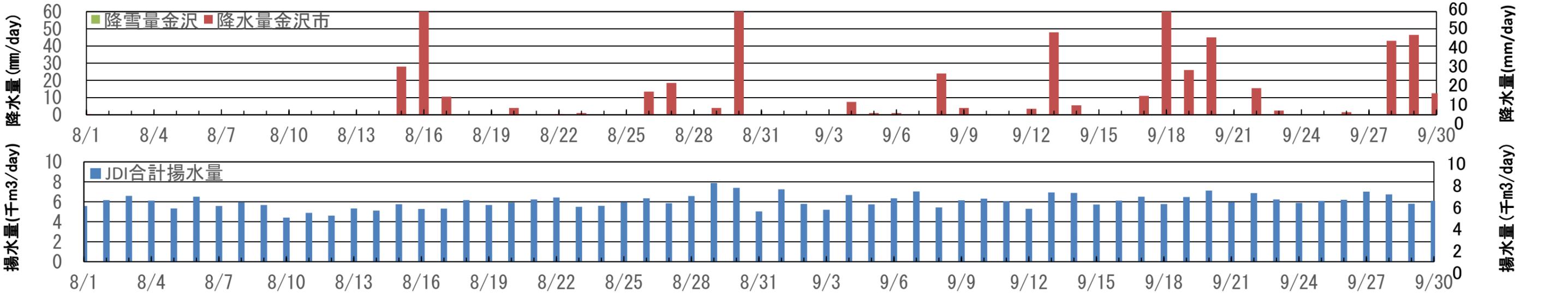


# 松任工業用水道 H28年度地下水位事前影響調査結果全23箇所の地下水位経時変化図（8月～9月）（1/2）

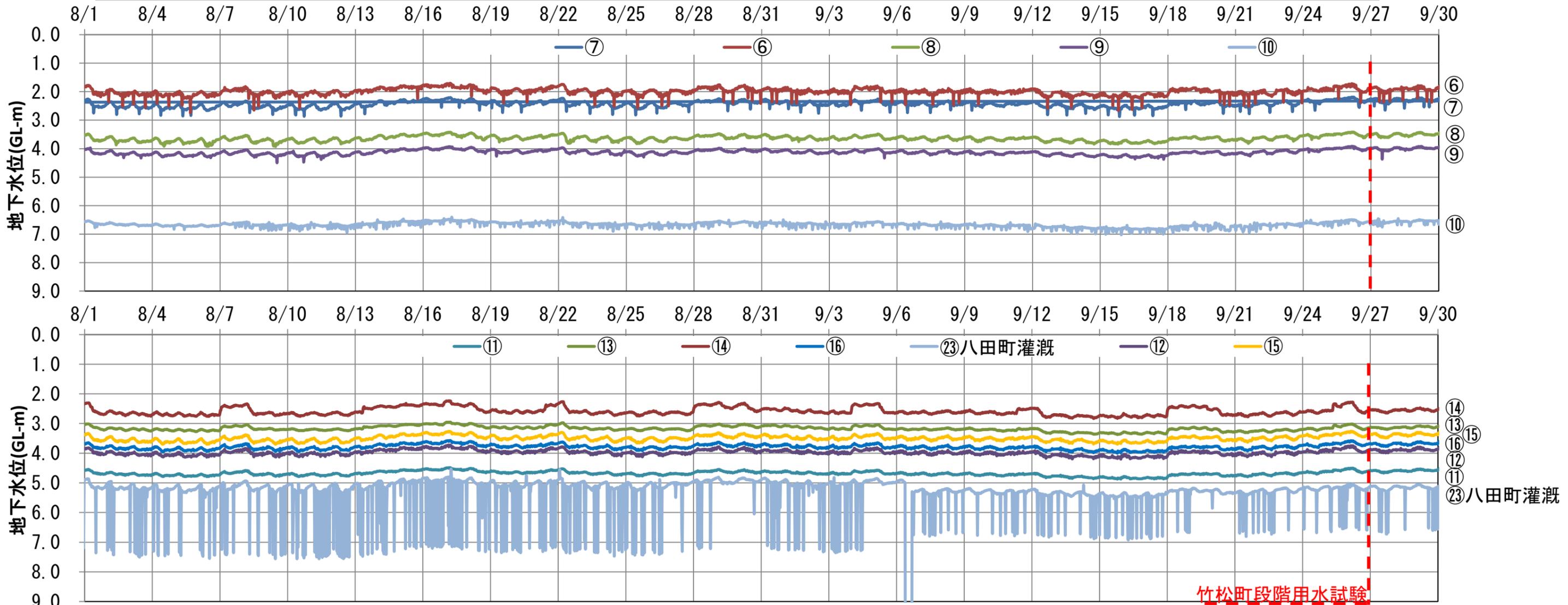


**8月 説明** **H28.8.月地下水位状況**  
 地下水位は、8月の間大きな変化は無く、概ね一定で推移している。盆休みの間、水位が若干上昇している。8月の降水量は207mmであり、平年並みである。JDI内部では、平均6,000m<sup>3</sup>/日前後の揚水を継続しているが、特に影響は認められない。  
 ※JDI: ジャパンディスプレイの略称です

**9月 説明** **H28.9月地下水位状況**  
 9月上旬の地下水位は前月同様一定であるが、9/20以降では、若干上昇する傾向となった。9月の月間降水量は391mmで、平年の1.7倍程度と多いことが遠因と考えられる。9/27に竹松町地内松任工水1号井戸の段階揚水試験を実施しているが、目立った変化は認められない。今後、10/11の週に連続揚水試験を実施し、10/17ごろにデータ回収を行う予定である。

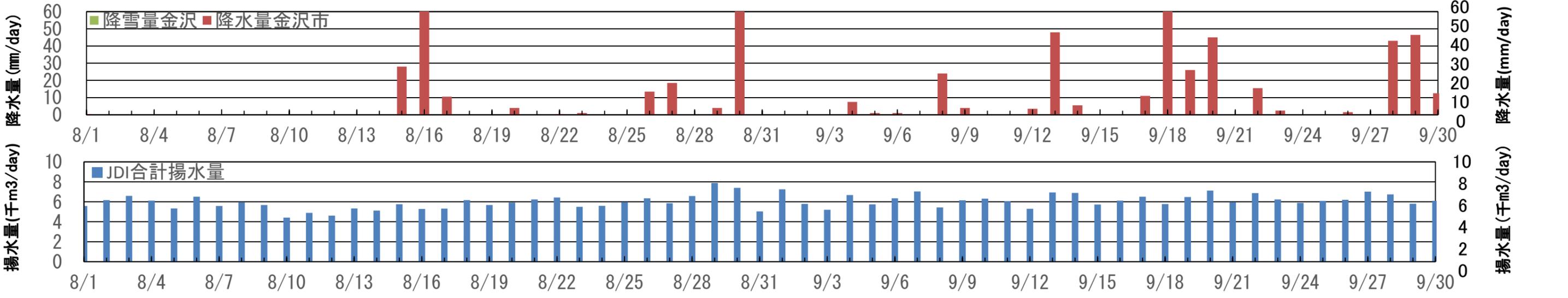


# 松任工業用水道 H28年度地下水位事前影響調査結果全23箇所の地下水位経時変化図（8月～9月）（2/2）

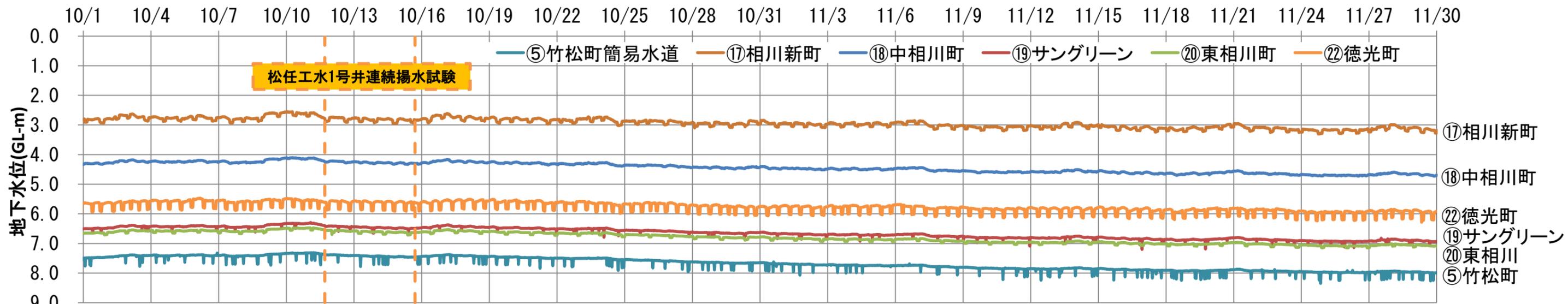
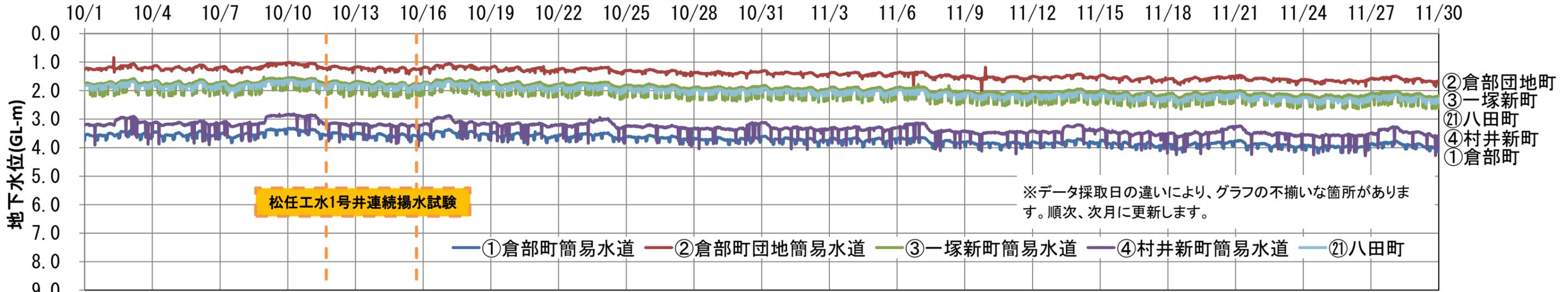


**8月** **H28.8.月地下水位状況**  
 地下水位は、8月の間大きな変化は無く、概ね一定で推移している。盆休みの間、水位が若干上昇している。8月の降水量は207mmであり、平年並みである。JDI内部では、平均6,000m<sup>3</sup>/日前後の揚水を継続しているが、特に影響は認められない。  
 ※JDI: ジャパンディスプレイの略称です

**9月** **H28.9月地下水位状況**  
 9月上旬の地下水位は前月同様一定であるが、9/20以降では、若干上昇する傾向となった。9月の月間降水量は391mmで、平年の1.7倍程度と多いことが遠因と考えられる。9/27に竹松町地内松任工水1号井戸の段階揚水試験を実施しているが、目立った変化は認められない。今後、10/11の週に連続揚水試験を実施し、10/17ごろにデータ回収を行う予定である。

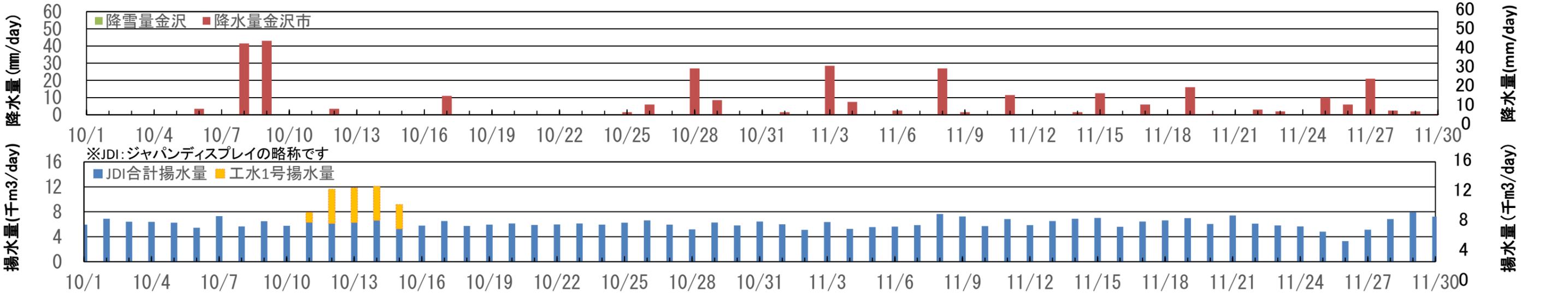


# 松任工業用水道 H28年度地下水位事前影響調査結果全23箇所の地下水位経時変化図(10月~11月) (1/2)

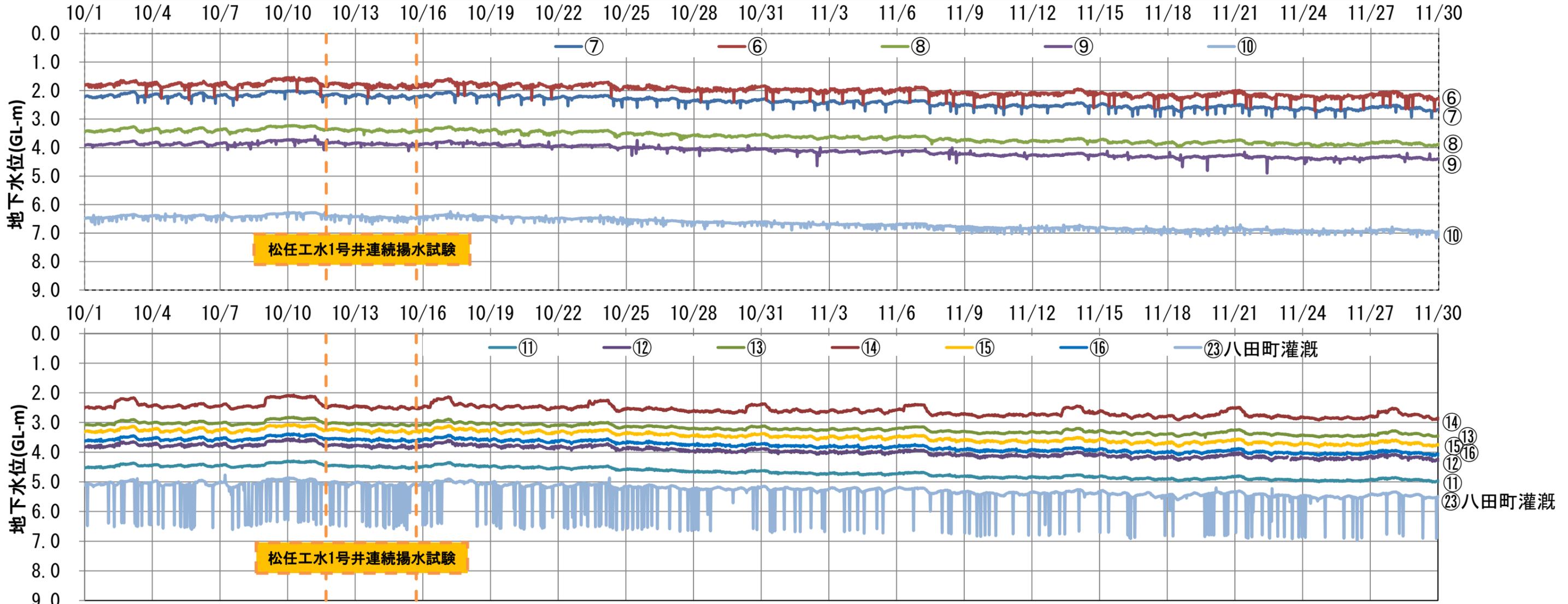


**10月**  
**H28.10月地下水位状況**  
当該地域の地下水位は、9/20以降緩やかに上昇していたが、10/10前後をピークに緩やかな下降に転じている。変動幅は20cm前後であり、季節的な変動であると判断されます。毎年11月は渇水期で水位低下する傾向にあるため、もしばらくは低下傾向が続くと予想されます。10/11から10/15にかけて [松任工水1号水源井戸の連続揚水試験\(570kbyte\)](#) を実施しましたが、大きな影響は認められませんでした。

**11月**  
**H28.11月地下水位状況**  
地下水位は前月から引き続き、緩やかな低下傾向を示している。変動幅は20cm前後であり、季節的な変動であると判断される。11月の降水量は163.5mmと平年の60%程度であったため、もしばらくは低下傾向を示すと考えられる。なお、⑫では11/23にポンプの入れ替え工事を行っており、9:00~12:00まで欠測している。

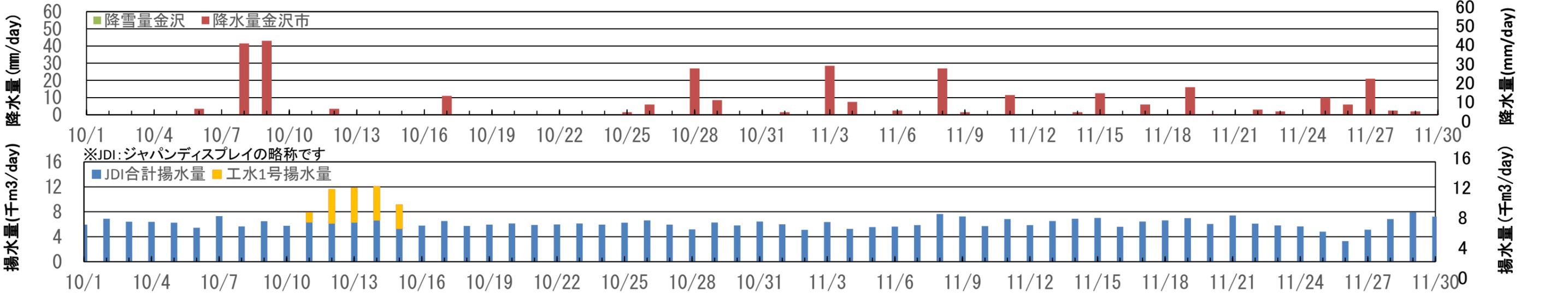


# 松任工業用水道 H28年度地下水位事前影響調査結果全23箇所の地下水位経時変化図（10月～11月）（2/2）



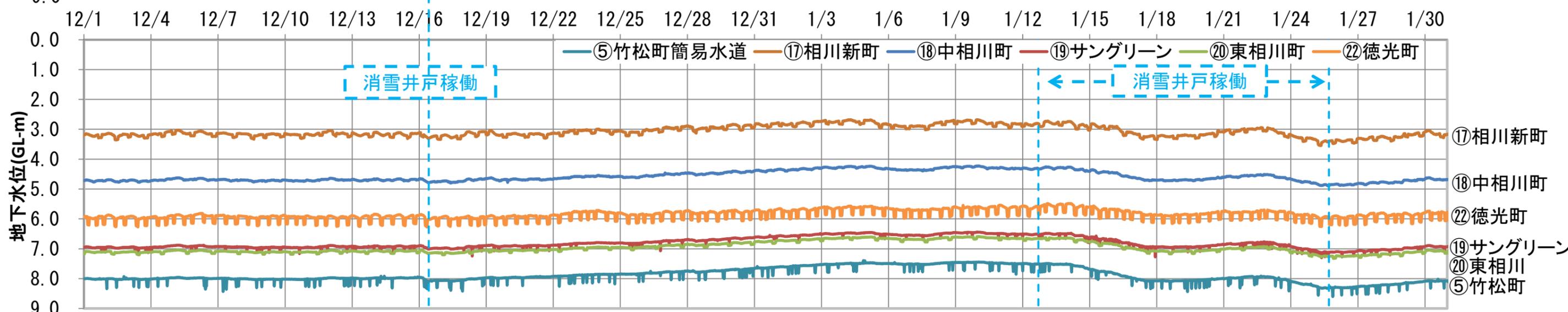
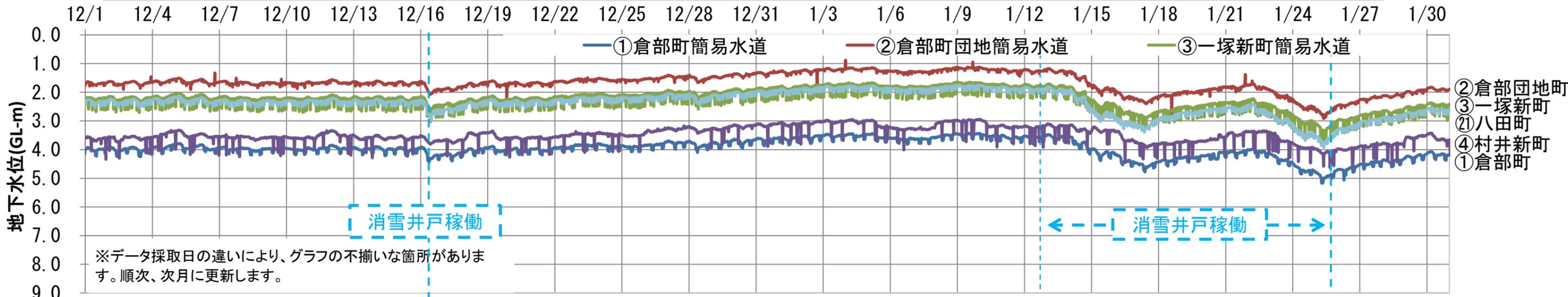
**10月**  
**H28.10月地下水位状況**  
当該地域の地下水位は、9/20以降緩やかに上昇していたが、10/10前後をピークに緩やかな下降に転じている。変動幅は20cm前後であり、季節的な変動であると判断されます。毎年11月は渇水期で水位低下する傾向にあるため、もしばらくは低下傾向が続くと予想されます。10/11から10/15にかけて [松任工水1号水源井戸の連続揚水試験\(570kbyte\)](#)を実施したが、大きな影響は認められませんでした。

**11月**  
**H28.11月地下水位状況**  
地下水位は前月から引き続き、緩やかな低下傾向を示している。変動幅は20cm前後であり、季節的な変動であると判断される。11月の降水量は163.5mmと平年の60%程度であったため、もしばらくは低下傾向を示すと考えられる。なお、⑫では11/23にポンプの入れ替え工事を行っており、9:00～12:00まで欠測している。



※JDI: ジャパンディスプレイの略称です

# 松任工業用水道 H28年度地下水位事前影響調査結果全23箇所の地下水位経時変化図 (12月~1月) (1/2)



**12月 説明**

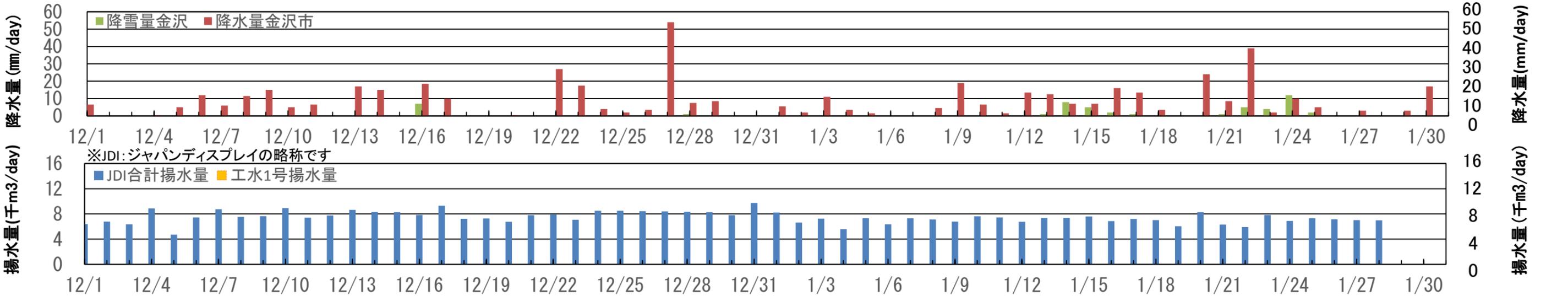
**H28.12月地下水位状況**

地下水位は例年通り10月上旬から緩やかな低下傾向を示していたが、12/20頃から緩やかな上昇傾向に転じている。また、12/16の降雪で、消雪井戸の稼働に伴う水位低下が認められ、H27と同様八田町や倉部町では影響が大きく、竹松町や東相川町では影響が小さい。JDI白山工場の揚水量について、12/7以降8,000m3/日前後に増加(増加前6,000m3/日前後)しているが、前述のとおり12/20頃から地下水位は上昇傾向を示しており、揚水の影響は軽微であると判断される。

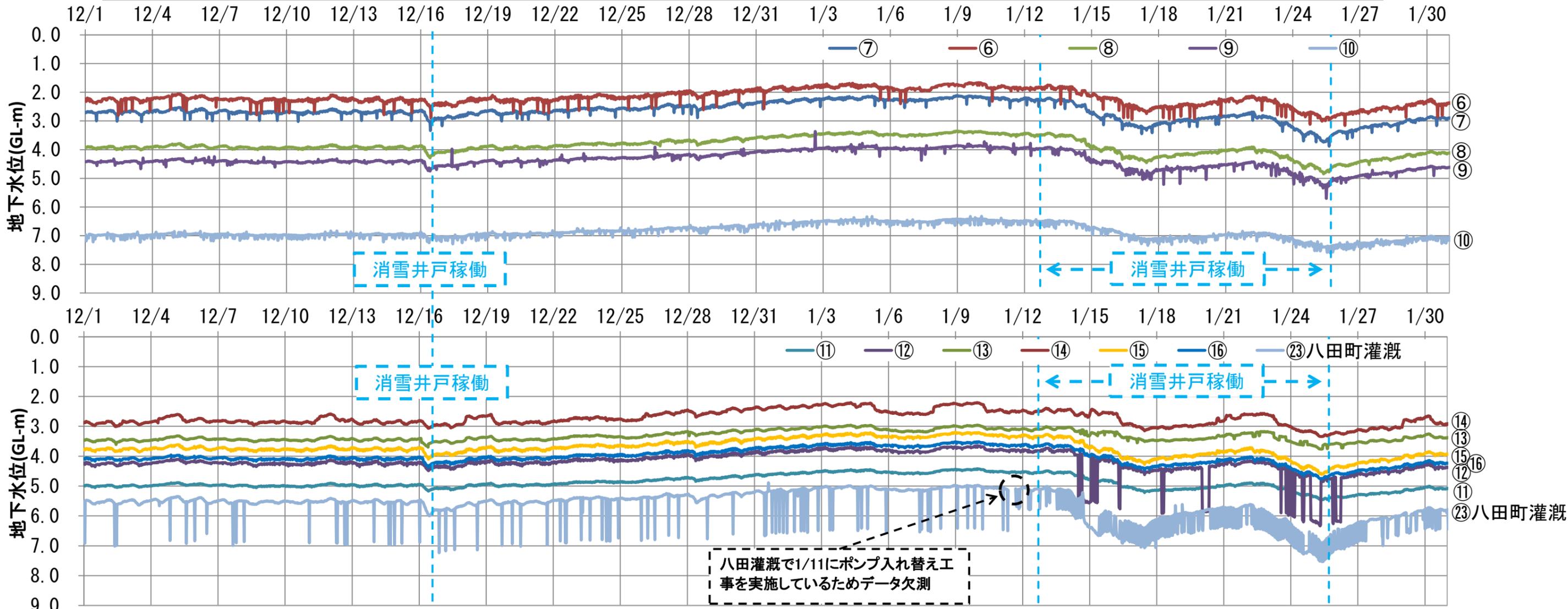
**1月 説明**

**H29.1月地下水位状況**

地下水位は、1/12まで上昇傾向であったが、1/12以降の消雪井戸の稼働に伴い、水位低下傾向を示した。降雪の収まった1/25以降の水位は回復傾向ではあるが、降雪前に比べると八田周辺で90cm、東相川で50cm程度低下している。消雪井戸稼働時の瞬間的な水位低下量は、八田周辺で190cm、東相川で60cmと昨年同様金沢市に近い方が影響は大きい。JDI白山工場の揚水量については、1/4までは8000m3/日前後であったが、1/5以降7000m3/日前後に減少している。

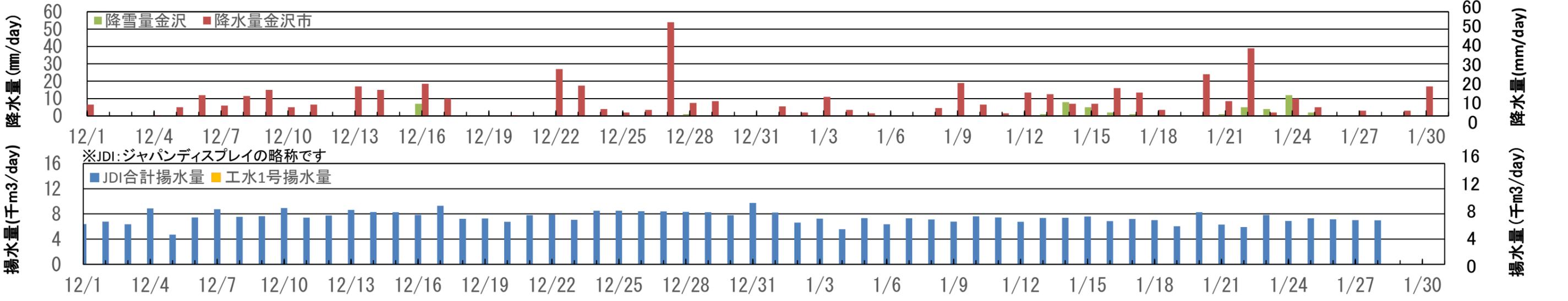


# 松任工業用水道 H28年度地下水位事前影響調査結果全23箇所の地下水位経時変化図 (12月~1月) (2/2)



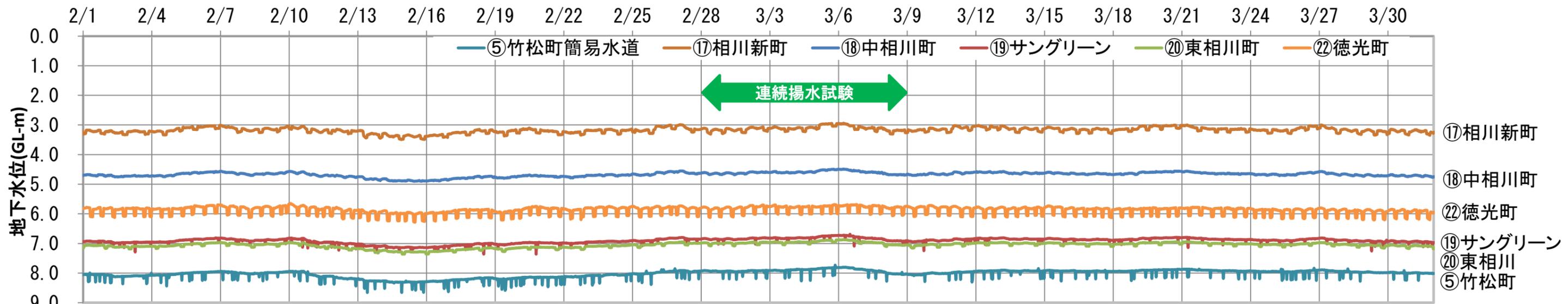
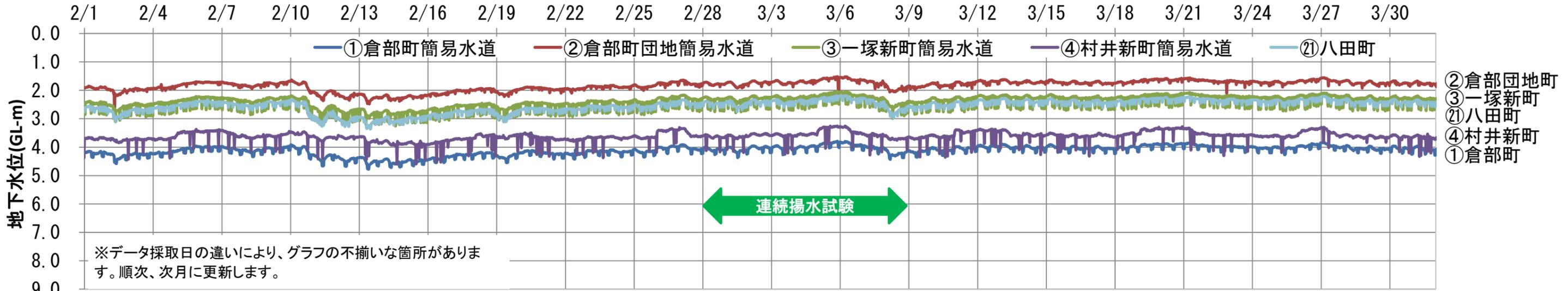
**12月**  
**H28.12月地下水位状況**  
 地下水位は例年通り10月上旬から緩やかな低下傾向を示していたが、12/20頃から緩やかな上昇傾向に転じている。また、12/16の降雪で、消雪井戸の稼働に伴う水位低下が認められ、H27と同様八田町や倉部町では影響が大きく、竹松町や東相川町では影響が小さい。JDI白山工場の揚水量について、12/7以降8,000m<sup>3</sup>/日前後に増加(増加前6,000m<sup>3</sup>/日前後)しているが、前述のとおり12/20頃から地下水位は上昇傾向を示しており、揚水の影響は軽微であると判断される。

**1月**  
**H29.1月地下水位状況**  
 地下水位は、1/12まで上昇傾向であったが、1/12以降の消雪井戸の稼働に伴い、水位低下傾向を示した。降雪の収まった1/25以降の水位は回復傾向ではあるが、降雪前に比べると八田周辺で90cm、東相川で50cm程度低下している。消雪井戸稼働時の瞬間的な水位低下量は、八田周辺で190cm、東相川で60cmと昨年同様金沢市に近い方が影響は大きい。JDI白山工場の揚水量については、1/4までは8000m<sup>3</sup>/日前後であったが、1/5以降7000m<sup>3</sup>/日前後に減少している。



※JDI:ジャパンディスプレイの略称です

# 松任工業用水道 H28年度地下水位事前影響調査結果全23箇所の地下水位経時変化図 (H29. 2月~3月) (1/2)



**2月 説明**

**H29.2月地下水位状況**

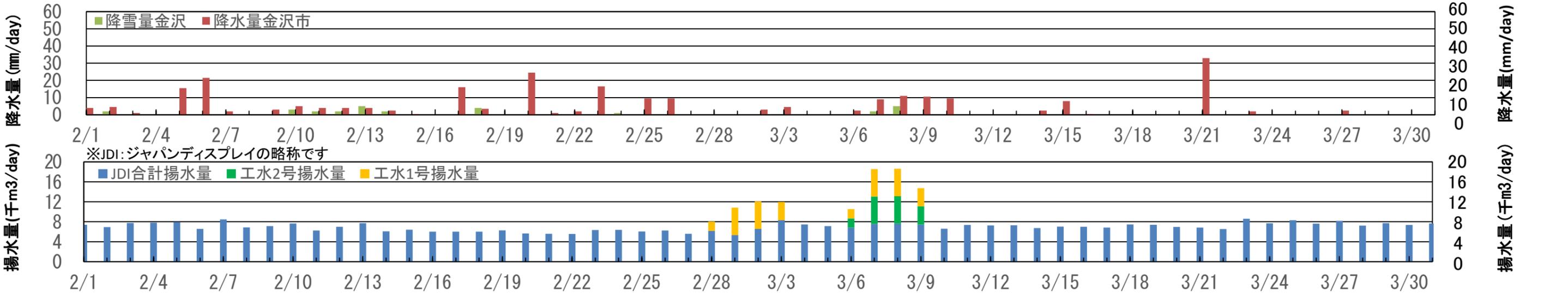
1月中の降雪による消雪井戸の稼働に伴い、地下水位は50cm~70cm程度低下したが、2月は概ね安定している。2月中旬に若干の降雪が認められ、笠間印刷の消雪井戸も稼働しているが、短期間であり、影響は小さい。2月後半からは緩やかな上昇傾向を示している。

JDI白山工場の揚水量は、2月中旬以降6,000m<sup>3</sup>/日前後に減少している。

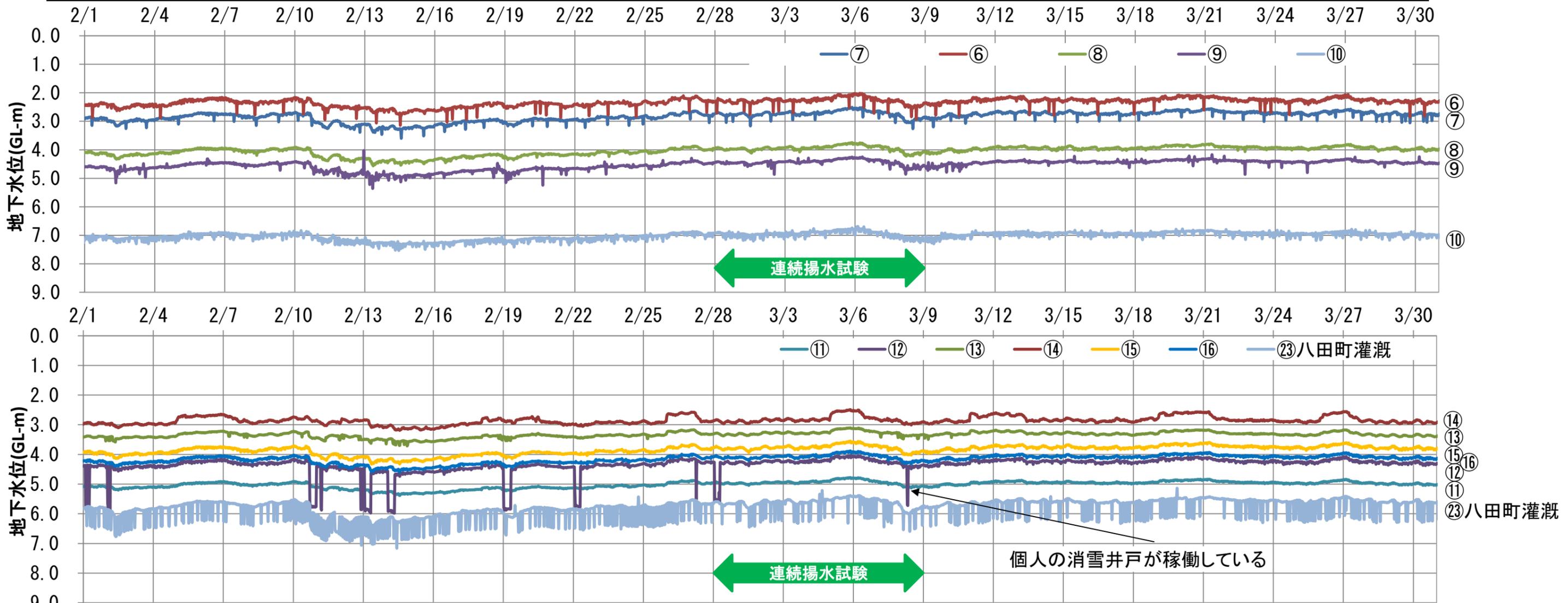
**3月 説明**

**H29.3月地下水位状況**

3/7-8に若干の降雪があり、消雪井戸の影響が認められるが、全体としては概ね一定の水位である。2/28~3/9にかけて、松任工水2号単独および1+2号の連続揚水試験を実施している。⑩や⑪で消雪井戸の影響を含めて23cm程度の水位低下が認められたが、揚水への影響は無視できるものである。JDI白山工場の揚水量は、平均7,300m<sup>3</sup>/日程度である。また、主要地点の井戸で水質分析を実施し、水質に問題はなく全検体で飲用適合であった。



# 松任工業用水道 H28年度地下水位事前影響調査結果全23箇所の地下水位経時変化図 (H29. 2月~3月) (2/2)



**2月**  
**説明**

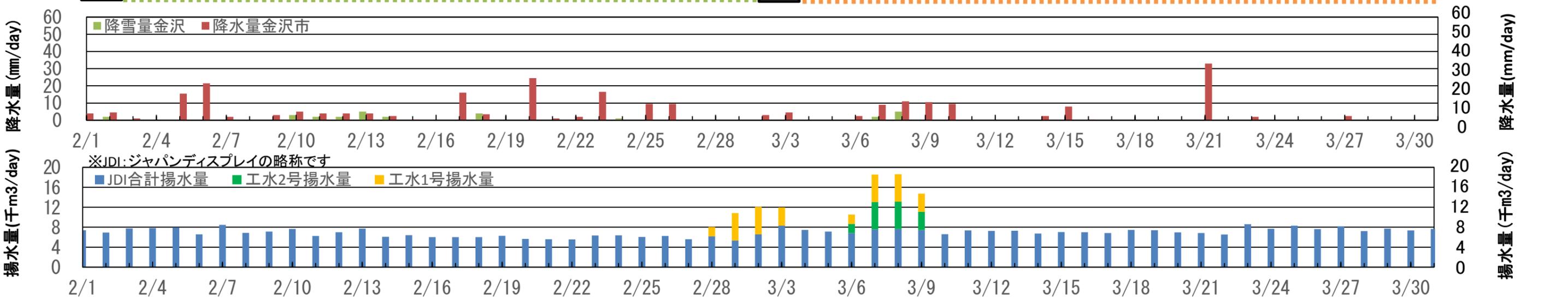
## H29.2月地下水位状況

1月中の降雪による消雪井戸の稼働に伴い、地下水位は50cm~70cm程度低下したが、2月は概ね安定している。2月中旬に若干の降雪が認められ、笠間印刷の消雪井戸も稼働しているが、短期間であり、影響は小さい。2月後半からは緩やかな上昇傾向を示している。  
JDI白山工場の揚水量は、2月中旬以降6,000m<sup>3</sup>/日前後に減少している。

**3月**  
**説明**

## H29.3月地下水位状況

3/7-8に若干の降雪があり、消雪井戸の影響が認められるが、全体としては概ね一定の水位である。2/28~3/9にかけて、松任工水2号単独および1+2号の連続揚水試験を実施している。⑩や⑪で消雪井戸の影響を含めて23cm程度の水位低下が認められたが、揚水への影響は無視できるものである。JDI白山工場の揚水量は、平均7,300m<sup>3</sup>/日程度である。また、主要地点の井戸で水質分析を実施し、水質に問題はなく全検体で飲用適合であった。



※JDI: ジャパンディスプレイの略称です